

岸和田市産業教育審議会に対する意見書

令和元年8月16日

氏名 岸和田商工会議所 会頭 中井秀樹

意見

全日制の入試倍率を見る限り、デザインシステム化及び情報科はこの少子化の中で、産業界あるいは保護者並びに生徒の間で必要と思われるから志願者が多いのだろう。

やはり、この様な時代の中でより魅力的な教育に作り替えていくことが、志願者数を増やし、今後の産業高校の発展に寄与するものと思われる。

提案

岸和田産業教育振興会について

- ① 第1回産業教育審議会意見書のうち、中野委員の提案である「岸和田産業教育振興会」なる財政的あるいは改革的に展望を開くしつかりとした機構を作ります。
- ② 構成員は中野委員どおり、教育委員会、企業（育成したい人材を要望する関連団体を含む）、大学、中学校、専門学校、PTA、OBとします
- ③ 産業教育振興会の財政基盤としては、企業よりの寄付、会員の賛助会費等で賄う。
- ④ 専門大学、専門学校と連携し、学校間の交流、教員間の交流を進めます。

商業科の学科再編について

- ⑤ 商業科については、現商業科の一部再編を行い、関西国際空港に近いという好立地を活かし、グローバル化に対応した人材を育成する国際科の創設を提案します。
- ⑥ 商業科
 - ・ 従来の商業科は、社会のニーズに応え、即戦力となる高度な知識・技能を身につけ、社会で活躍できる人材を育成します。
 - ・ 在学中に日商簿記2級の資格を取得します。
 - ・ 日商簿記1級レベルの企業財務のスペシャリストを養成します。
- ⑦ 国際科
 - ・ 国際科は、グローバル化社会の技術進歩と情報化に対応し、英語のスキルとコミュニケーション能力を高めます。
 - ・ 関西国際空港に近いという好立地を活かし、貿易と観光のスペシャリストを養成します。
 - ・ 英語及び第二外国語の習得を目指します。
 - ・ 英語の上級資格の取得 TOEIC、英検
 - ・ 海外語学研修の実施 アジアの各国訪問 等
- ⑧ 以上の科目については、専門大学、専門学校とタイアップし相互に交流を重ね、学力、専門教育の魅力を高めていく。

⑨ 校名変更及び商業科・情報化の科名変更について

- ・岸和田市立産業高等学校→岸和田市立岸和田実業高等学校に校名を変更する。
通称名：市立岸和田実業、岸実（岸実）
- ・職業に関する専門学科がある高校としての特色を出す。
また、各種資格検定の上級資格が取得できる高校を目指す。

・商業科・情報科



商業科：会計ビジネス教育に特化

国際科（or 国際ビジネス科）：語学教育に特化

情報科（or 情報ビジネス科）：情報処理、プログラミング教育の特化